

## 配付資料

日 時 2018年9月15日(土) 15:15~16:15 (終了予定)  
会 場 関西大学 第3学舎 D302教室

司会 生駒 俊樹 研究大会企画委員会副委員長(理事)

### 一 次 第 一

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 事業報告
  - ・ 2017年度事業報告 ··· (資料 1)
  - ・ 活動日誌 ··· (資料 2)
  - ・ 奨励研究採択者の件 ··· (資料 3)
4. 議決事項
  - 第1号議案 2017年度中間決算承認の件 ··· (資料 4)
  - 第2号議案 2018年度事業計画案の件 ··· (資料 5)
  - 第3号議案 一般社団法人定款(案)の件 ··· (資料 6)
  - 第4号議案 2018年度予算案の件 ··· (資料 7)
  - 第5号議案 倫理規程・学会規約改定案の件 ··· (資料 8)
  - 第6号議案 新役員承認の件 ··· (資料 9)
5. 2019年度研究大会・総会の件 ··· (資料 10)
6. 閉会の辞

以上

## «資料1» 2017年度 事業報告

### 1. 会員数の推移

会員は昨年より 26 名増加し会員数は、1,407名(昨年比 101.9%)となった。

会員状況

※単位:名 (2018年7月31日現在)

会員種別	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	前年比
正会員	949	960	1,017	1,037	1,071	34
正会員(院生)	136	143	148	155	150	-5
学生会員	25	23	22	21	19	-2
賛助会員(個人)	131	124	127	129	130	1
賛助会員(団体)	40	39	39	39	37	-2
合 計 (人)	1,281	1,289	1,353	1,381	1,407	26

### 2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、用語の整理、概念の深化及び実態の多角的な検討など、キャリアに関する基礎研究の必要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行った。

### 3. 今期および中期的活動計画

当学会は2014年に設立10周年を迎える、今期も15周年に向けて新たな活動を行いつつある。すでに、10周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにし、第11回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムを行った。

これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、委員会活動が展開された。

### 4. 研究組織委員会活動

当期方針の通り、新たな10年後を見据えた学会の方向性、学会スローガンを検討し、キャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討した。また、学会の持続的発展を目指し、3つのワーキンググループを立ち上げ多面的な視野で学会の課題解決に着手した。

#### (1)研究組織委員会の活動

以下のとおり、各委員長を中心として委員会活動を推進した。

##### ① 研究組織委員会

研究組織委員会では、法人化準備検討委員会および同ワーキンググループと連携し、学会の法人への円滑な移行を進めるための準備・検討を行った。併せて学会の持続的発展を実現するための諸方策のあり方について、前年度に引き続き多角的な検討を行った。

## ② 研究大会企画委員会

青木猛正委員長のもと、第15回研究大会の大会テーマ、基本方針を受け、自由研究発表の募集、特別講演、シンポジウムの検討、プログラムの策定、司会者・コメンテーターを決定し、大会の運営を行った。さらに、第16回研究大会の開催校を検討した。

また、学会奨励研究の要項を作成し、学会HPで募集を行い4件採択した。さらに、研究奨励事業規程（案）を作成した。

## ③ 研究会企画委員会

梅崎修委員長のもと、金曜日夜のキャリアデザインライブ！を5回、土曜日のキャリアデザインライブ！を2回を開催した。土曜日開催のうち1回は、昨年度から続いている地方開催を新潟市で行った。毎回多くの会員に参加してもらっており、非会員の参加は入会に繋がっている。

## ④ 研究誌編集委員会

児美川孝一郎委員長のもと、各編集委員のご尽力により、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol. 14』の編集作業を進めている。発行予定は9月末日であり、現時点（8月7日現在）での進捗状況は、投稿数26件、掲載決定9件、査読中5件、不採択8件、辞退4件である。また、審査過程における査読プロセスの改善にも着手した。

## ⑤ 広報委員会

内田勝久委員長のもと、キャリアデザイン・ニュースレターおよびキャリアデザインマガジンを定期発行した。会員向けサービス、情報発信強化、および新規会員の獲得を目的として、ソーシャルメディア（FACE BOOK）を活用し、「キャリア・デザイン・ライブ！」など訴求効果の高い学会活動を定期的に紹介した。

昨年に引き続き、企業会員との情報交換会を7月に開催し、学会活動に対するニーズやそれぞれの立場でのキャリアデザインに関する課題を共有した。参加者からは、継続して企業会員を中心とした、情報公交代会の場の設置について意見が出された。

## ⑥ キャリア研究・政策・国際交流委員会

佐藤厚委員長のもと、2016年度から引き続き10年という長期のビジョンで、キャリアデザイン学会の研究の方向性を考えることを主目的として、「OJTに焦点をあてた人材育成とキャリア形成」をテーマに活動してきた。2017年度からは武石恵美子委員長から佐藤厚委員長に代わり、委員会を構成した。15周年を一つの区切りとして研究を発信していくという当初の方針を継承しつつ、日本キャリアデザイン学会大会（2018年9月16日）でシンポジウムを開催することとした。シンポジウム開催に向けた論点の整理、委員の問題意識の共有、シンポジウムの進め方を明確にすることを目的とした研究会を3回開催した（2017年8月30日、12月25日、2018年3月27日）。

## ⑦ 15周年記念事業委員会

末廣啓子委員長のもと、学会設立15周年記念事業の実施に向けて、学会の法人化等学会の全体状況と関係委員会の活動の方向を踏まえ、記念事業の検討に着手した。

## ⑧ 法人化準備検討委員会

荻野勝彦副会長を委員長、浅野浩美研究組織委員会副委員長を副委員長に選任した。委員会内に作業部会を設置し、行政書士シーガル事務所の助言を得ながら新法人の定款の原案を検討し、さらに委員会にて2018年開催の学会総会への提案に向けて準備を進め、常務理事会にて定款案の承認を得た。

また、委員会内に規約・移行・システムの3つのワーキンググループを設置し、各分野にて法人化に向けた検討・対応を実施する体制を整えた。

### (2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会を開催した。

#### ①関西支部

松高政支部長のもと、支部役員会を2回開催し、第8回支部研究大会、第21回、第22回支部研究会を開催した。

#### ②中京支部

金井篤子支部長のもと、3回の中京支部研究会を開催した。うち2回は「キャリアライブ」に刺激を受けて、「きやりあ“ミニ”りやーぶ」の形式で実施した。

## 5. その他の活動

### ①一般社団法人への移行について

2017年9月2日に成城大学にて開催された総会にて、一般社団法人への移行が議決され、10月より法人化準備検討委員会並びにワーキンググループ（規約・移行・システム）を立ち上げ2019年（15周年）の法人化への移行に向けての準備・方向性の検討を進めてきた。

### ②自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を2016年から継続して実施し、4件採択し研究大会での発表、『キャリアデザイン研究 Vol. 14』への掲載を実施し、若手研究者への研究助成を実施した。

### ③他学会等との連携について

多摩地区高等学校進路指導協議会／多摩地区専修学校協議会と連携し第6回チャレンジプログラム「シンポジウム2017」の後援の実施をし、また日本学術会議の賛助会員となった。

### ④キャリア・デザイン・ライブの地方開催

2016年度の名古屋にて開催した特別研究会に続き、本年は新潟地区にて第2回出張キャリア・デザイン・ライブを新潟市、新潟教育委員会、新潟県、新潟キャリアコンサルタント協会の後援のもと地方会員の交流の場を設けた。

### ⑤企業会員情報交換会

昨年に続き本学会の特徴でもある会員の多様性から創造的相互作用を深化させるため第2回企業会員情報交換会を実施した。

## 6. 決算

研究会企画委員会による「キャリア・デザイン・ライブ！」や会員の推薦により80名の新規会員獲得に繋がったが会員資格失効期間の規制により会員数は微増であった。しかし、経費節減に努め、単年度収支の改善を図り、研究助成金・一般社団法人への移行への積み立てに寄与した。

以上

《資料2》活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会	2017年9月2日（土） 3日（日）	<p>第14回研究大会  『多様なキャリアの創造に向けて』  特別講演：  「Diversity for Growth  ～経営戦略としてのダイバーシティ～」  損害保険ジャパン日本興亜株式会社取締役  常務執行役員 伊東 正仁 氏  主宰校企画シンポジウム：  「小・中・高一貫したキャリア教育による成長物語」  加藤陸雄氏（成城学園初等学校教諭 校長）  山口秀之氏（成城学園中学校高等学校教諭教務部副部長）  高村 静 氏（成城大学キャリアセンター 特別任用教授）  卒業生：小川 智弘氏、山本 馨子氏  コーディネーター：児美川 孝一郎 氏（法政大学 キャリアデザイン学部 教授）  司会：長尾 繁樹 氏（成城大学 事務局企画調整室）  学会主催シンポジウム：  「多様な人材の多様なキャリア  －多様なキャリアの創造に向けて－」  雅樂川 陽子氏（有限会社 COCO-LO）  久保田 あさみ氏（株式会社アイ・エム・ユー）  宮嶋 望氏（農事組合法人共働学舎新得農場）</p>	成城大学
理事会	2017年9月2日（土）	2016年度第2回理事会・2017年度第1回理事会、 －2016年度事業報告、活動日誌、奨励研究採択者、2016 年度中間決算、2017年度事業計画案、2017年度予算案、 学会規約改定、一般社団法人への移行、法人化準備検討委 員会の設置、理事会が常務理事会に委任する業務等につい て	成城大学
法人化準備 検討委員会	2017年9月3日（日）	2017年度第1回法人化準備検討委員会 －法人化準備検討委員会の今後の進め方について	成城大学
事務局打ち 合わせ	2017年9月5日（火）	事務局打ち合わせ －一般社団法人化の今後の進め方について	ぶんしん出版
ニュースレ ター	2017年9月15日（金）	キャリアデザイン・ニュースレター 第156号	

行事等	日付	主な内容	場所
法人化準備検討委員会小委員会	2017年9月29日(金)	2017年度第1回法人化準備検討委員会小委員会 －一般社団法人化の方向性について	東京大学社会科学研究所
研究会企画委員会	2017年9月29日(金)	2017年度第1回研究会企画委員会 －2017年度キャリアデザインライブの企画について	法政大学市ヶ谷キャンパス
メールマガジン	2017年10月13日(金)	キャリアデザインマガジン134号	
ニュースレター	2017年10月16日(月)	キャリアデザイン・ニュースレター 第157号	
法人化準備検討委員会小委員会	2017年10月18日(水)	2017年度第2回法人化準備検討委員会小委員会 －一般社団法人化に向けた代議員の選出方法等の検討など	東京大学社会科学研究所
法人化準備検討委員会小委員会	2017年10月25日(水)	2017年度第3回法人化準備検討委員会小委員会 －一般社団法人化における理事の選出方法等について	産業能率大学自由が丘キャンパス
中京支部	2017年10月28日(土)	第12回中京支部研究会（きやりあ“ミニ”りやーぶ） テーマ：「キャリアの研究」について考える 講師：金井 篤子氏（名古屋大学大学院教育発達科学研究所 教授） 発表者： 今永 典秀氏（岐阜大学 地域協学センター 特任助教） 三井 栄氏（岐阜大学 地域科学部 教授） 胡田 裕教氏（名古屋大学大学院 博士後期課程） 企画・司会： 船津 静代氏（名古屋大学学生相談総合センター 准教授） 高綱 瞳美氏（愛知教育大学学校教育講座 講師）	名古屋大学東山キャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
関西支部	2017年11月5日(日)	第8回関西支部研究大会 発表：「CFOに至るキャリア・プロセスの研究－転職経験に焦点をあてて－」北村 雅昭氏（京都美術工芸大学） 「大学生の学修スタイルに関する実証的研究－産学協働教育と主体性の関連－」小田部 貴子氏（九州産業大学）・松高 政氏（京都産業大学） 「高齢者介護施設職員の上司に対する認知がワーク・モチベーションに及ぼす影響－施設タイプに着目した予備的研究－」堀内 泉氏（関西大学大学院心理学研究科）	関西大学千里山キャンパス
法人化準備検討委員会	2017年11月13日(月)	2017年度第2回法人化準備検討委員会 —一般社団法人化に向けた定款の内容の検討など	東京大学社会科学研究所
ニュースレター	2017年11月15日(水)	キャリアデザイン・ニュースレター 第158号	
研究会	2017年11月17日(金)	2017キャリアデザインライブ！<5> テーマ： 障がい者雇用を改めて正しく知る、障がい者雇用を支援する人を考える 講師： 阿部 潤子氏（株式会社 Connecting Point 代表取締役 社会福祉士／精神保健福祉士） 田中 潤氏（株式会社ぐるなびサポートアソシエ 代表取締役） コーディネーター： 玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所）	明治大学駿河台キャンパス
研究大会企画委員会	2017年11月26日(日)	2017年度第1回研究大会企画委員会 －第15回研究大会について －第16回研究大会開催場所等について －奨励研究について	日本経済大学渋谷キャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
関西支部	2017年12月9日(土)	関西支部第21回研究会 テーマ： 高校・大学から仕事・社会へのトランジション－アクティブラーニングとキャリア教育の観点から－ 講師： 溝上 慎一氏（京都大学高等教育研究開発推進センター/大学院教育学研究科教授） 進行： 三川 俊樹氏（追手門学院大学） 総括コメント： 川崎 友嗣氏（関西大学）	京都産業大学 むすびわざ館
ニュースレター	2017年12月15日(金)	キャリアデザイン・ニュースレター 第159号	
研究会	2017年12月15日(金)	2017キャリアデザインライブ！<6> テーマ： みらいのわたしは「どこ」で働いている? ～これからのオフィスのあり方・はたらき方とは～ 講師： 松下 慶太氏（実践女子大学人間社会学部人間社会学科 准教授） 館野 泰一氏（立教大学経営学部経営学科 助教） コーディネーター： 玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所） 梅崎 修氏（法政大学）	Peatix Japan 株式会社
メールマガジン	2017年12月19日(火)	キャリアデザインマガジン135号	
法人化準備検討委員会	2017年12月22日(金)	2017年度 第3回法人化準備検討委員会 一定款(案)について、規程類について、会員・会費種別について、今後の進め方について	東京大学社会科学研究所
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2017年12月25日(月)	2017年度第1回キャリア研究・政策・国際交流委員会 －シンポジウム開催に向けた論点整理、シンポジウムの進め方など	法政大学市ヶ谷キャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
常務理事会・研究組織委員会合同会議	2018年1月8日(月)	2017年度第1回常務理事会・研究組織委員会合同会議 －第16回研究大会会場案について、第15回研究大会について、査読回数の変更(案)について、選挙管理委員会について、一般社団法人の定款(案)について、2017年度スケジュールについて －研究組織委員会報告など	学習院大学目白キャンパス
ニュースレター	2018年1月15日(月)	キャリアデザイン・ニュースレター 第160号	
広報委員会	2018年2月13日(火)	2017年度第1回広報委員会 －ニュースレター関連について、ホームページコンテンツについて、来季以降の課題について、その他	産業能率大学自由が丘キャンパス
ニュースレター	2018年2月15日(木)	キャリアデザイン・ニュースレター 第161号	
メールマガジン	2018年2月19日(月)	キャリアデザインマガジン第136号	
法人化準備検討委員会小委員会	2018年3月2日(金)	2017年度第4回法人化準備検討委員会小委員会 －各ワーキンググループの今後の進め方について、その他	東京大学社会科学研究所
研究会	2018年3月10日(土)	出張、キャリアデザインライブ！新潟開催！ 講演： 新たな就職氷河期世代を生まないために 玄田有史氏（東京大学社会科学研究所） 報告・ディスカッション： 地域における若者支援のチームプレー！ 佐藤純子氏（新潟地域若者サポートステーション総括コーディネーター） 武田貞彦氏（ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟専務理事） 杵鞭義夫氏（新潟市若者支援センター「オール」新潟市青木洋之氏（教育委員会地域教育推進課係長） NPO法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎 事務局長／理事） コーディネーター： 玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所） 西條 秀俊氏（新潟大学キャリアセンター）	新潟市万代市民会館

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会企画委員会	2018年3月11日(日)	2017年度第2回研究大会企画委員会 －第15回研究大会について、その他	日本経済大学 渋谷キャンパス
研究誌編集委員会	2018年3月13日(火)	2017年度第1回研究誌編集委員会 －研究誌(vol.14)の編集について －今後のスケジュールについて	法政大学市ヶ谷キャンパス
ニュースレター	2018年3月15日(木)	キャリアデザイン・ニュースレター 第162号	
法人化準備検討委員会移行WG	2018年3月16日(金)	2017年度第1回法人化準備検討委員会移行WG －設立時理事について、設立時社員について、その他	産業能率大学 自由が丘キャンパス
常務理事会・研究組織委員会合同会議	2018年3月21日(水)	2017年度第2回常務理事会・研究組織委員会合同会議 －第15回大会プログラム、第16回大会会場、理事選挙について、ウェブサイト移行について、設立時理事、設立時社員、第一期社員選定の法人化準備検討委員会への一任について －一般社団法人化WG報告、研究組織委員会報告、今後の方向性について	学習院大学目白キャンパス
研究会	2018年3月24日(土)	第13回中京支部研究会(きやりあ“ミニ”りやーぶ) テーマ： 「キャリアコンサルティング属性別ツール」開発と体験企画・発表：深谷潤一氏(NPO法人ICDS理事長) ファシリテーション：三井博美氏	名古屋大学東山キャンパス
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2018年3月27日(火)	2017年度第2回キャリア研究・政策・国際交流委員会 －シンポジウム開催に向けた論点整理、シンポジウムの進め方など	法政大学市ヶ谷キャンパス
メールマガジン	2018年4月6日(金)	キャリアデザインマガジン第137号	
ニュースレター	2018年4月16日(月)	キャリアデザイン・ニュースレター 第163号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究会	2018年4月20日(金)	2018 キャリアデザインライブ！<1> テーマ：児童養護施設を知っていますか？ ～「頼れる大人がいない子」のキャリア支援を考える～ ゲスト：村上 綾野氏（HUG for ALL 代表理事） コーディネーター： 玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所） 梅崎 修氏（法政大学）	法政大学市ヶ谷キャンパス
法人化準備検討委員会小委員会	2018年4月23日(月)	2017年度第5回法人化準備検討委員会小委員会 －新法人第一期社員、理事候補者推薦委員、代議員選挙管理委員について －選挙規則について	東京大学社会科学研究所
関西支部	2018年5月12日(土)	関西支部 第22回研究会 テーマ： 働き方改革に向けて「働きやすい職場づくり」とは何かを考える－法改正の視点から－ 実践報告： 谷口 勉氏（谷口勉社労士事務所所長 元京都上労働基準監督署長 元労働基準連合会専務理事） 山下 裕氏（大和ハウス工業株式会社 人事部次長） 司会：湯口 恒子氏（近畿大学） 開会挨拶：松高 政氏（京都産業大学） 総括コメント&閉会挨拶 中村 恵氏（神戸学院大学）	公益財団法人 関西生産性本部
ニュースレター	2018年5月15日(火)	キャリアデザイン・ニュースレター 第164号	
研究会	2018年5月18日(金)	2018 キャリアデザインライブ！<2> テーマ： 食卓から見たキャリアデザイナー料理は人生を変える－ ゲスト： 阿古 真理氏（作家・生活史研究家） コーディネーター： 玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所） 梅崎 修氏（法政大学）	東京家政学院 大学千代田キャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
法人化準備検討委員会規程 WG	2018年5月22日(火)	2017年度第1回法人化準備検討委員会規程WG －各種規程について、各種規程案作成スケジュールについて	産業能率大学自由が丘キャンパス
法人化準備検討委員会システムWG	2018年5月23日(水)	2017年度第1回法人化準備検討委員会システムWG －システム移行について、今後のスケジュールについて	産業能率大学自由が丘キャンパス
ニュースレター	2018年6月15日(金)	キャリアデザイン・ニュースレター 第165号	
研究会	2018年6月15日(金)	2018 6月 キャリアデザインライブ！<3> テーマ： 住居から考えるキャリアデザイン－超高齢社会に向けて 町を住みこなす－ ゲスト： 大月 敏雄氏（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻・教授） コーディネーター： 梅崎 修氏（法政大学） 坂爪 洋美氏（法政大学）	東京大学本郷キャンパス
メールマガジン	2018年6月20日(水)	キャリアデザインマガジン 第138号	
常務理事会・研究組織委員会合同会議	2018年6月24日(日)	2017年度第3回常務理事会・研究組織委員会合同会議 －第15回大会プログラム、大会当日役割分担、第16回大会会場について －一般社団法人化について、理事選挙について、第15回研究大会自由投稿者、奨励研究の審査結果について －研究組織委員会報告 など	学習院大学目白キャンパス
法人化準備検討委員会システムWG	2018年7月13日(金)	2017年度第2回法人化準備検討委員会システムWG －システム移行について、今後のスケジュールについて	産業能率大学自由が丘キャンパス
ニュースレター	2018年7月13日(金)	キャリアデザイン・ニュースレター 第166号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究会	2018年7月14日(土)	2018 キャリアデザインライブ！夏のスペシャル テーマ： 能楽師に聴く、演じること、育てること、生きること 講師： 御厨 誠吾 氏 (能楽師(ワキ方下掛宝生流)) コーディネーター： 玄田 有史氏 (東京大学社会科学研究所) 梅崎 修氏 (法政大学)	法政大学市ヶ谷キャンパス
中京支部	2018年7月28日(土)	第14回中京支部研究会 (きやりあ“ミニ”りやーぶ) テーマ： 性的マイノリティから多様なキャリア形成支援のあり方 を考える 講師： NPO 法人 ASTA 共同代表理事 久保 勝氏 他数名	名古屋大学東山キャンパス
広報委員会	2018年7月31日(火)	2017年度第1回広報委員会企業情報交換会 －学会の活動概要、学会に対するニーズヒアリング、今後について	トヨタ自動車東京本社
法人化準備検討委員会	2018年8月3日(金)	2017年度第4回法人化準備検討委員会 －総会での説明資料について、理事会準備会議・総会でのQ&Aについて、準備検討委員会の今季活動報告・次期活動計画について、新法人の活動内容について	東京大学
理事会準備会議	2018年8月12日(日)	2018年度理事会準備会議 －会の位置付け、理事選挙結果について、本日及び今後のスケジュールについて －会長の選出、副会長・常務理事等の承認について	東京八重洲会議室
常務理事会	2018年8月12日(日)	2017年度第4回常務理事会 －2017年度中間決算、2018年度事業計画、2018年度予算について、事務局次長の増員と企業会員交流WGについて、20周年記念事業委員会について、一般社団法人理事と代議員の選出方法について －一般社団法人定款(案)の説明資料、一般社団法人への移行の今後のスケジュール、第15回研究大会司会・コメントーターについて、大会当日役割分担について	東京八重洲会議室

行事等	日付	主な内容	場所
ニュースレター	2018年8月15日(水)	キャリアデザイン・ニュースレター 第167号	

## «資料3»奨励研究採択者の件

### 日本キャリアテザイン学会 奨励研究募集結果について

- ◆奨励金 1件につき 10万円
- ◆採択件数 上限5件とする
- ◆審査機関 研究組織委員会、及び 研究大会企画委員会
- ◆研究期間 2018年6月から 2019年5月末

(\*採択者の義務 採択者は、第16回研究大会での発表、及び『キャリアテザイン研究』Vol. 15への研究成果の報告を行うこととする。)

会員番号	氏名	研究主題
C060021	森本 康太郎氏	「Career Beliefs Inventory(CBI)日本語版の開発」
C160073	佐藤 憲氏	「後継者のキャリア経験が事業承継後の企業パフォーマンスに与える影響—全国小企業データによる実証分析—」
C110079	大橋 重子氏	「個人が知覚する組織との距離について—ホワイトカラー従業員と組織との関係性に関する再検討—」

以上3件の採択を決定いたしましたことをご報告いたします。

研究大会企画委員会 委員長 青木猛正

『資料4』 2017年度中間決算承認の件

日本キャリアデザイン学会 2017年度決算書

貸借対照表

2018年7月31日現在

資産・負債別／科目		金額	備考
資産の部	流動資産	現金	55,525
		普通本口（三菱東京UFJ）	13,505,675
		普通大会口（三菱東京UFJ）	697,633
		普通関西大会口	147,229
		郵便貯金	78,977
		普通中京支部	102,040
		売掛金	0
		前払費用	0
		仮払金	0
		流動資産合計	14,587,079
資産合計		14,587,079	
負債の部	流動負債	未払金	237,600
		預り金	14,778
		仮受金	0
		流動負債合計	252,378
	負債合計	252,378	
正味財産の部		14,334,701	
(うち当期収支差額)		4,206,597	
負債及び正味財産合計		14,587,079	

日本キャリアデザイン学会 2017年度中間

収支計算書

2017年10月1日～2018年7月31日

(単位：円)

科目別	決算額 (2018.7.31現在)	予測 (2018.8.1～ 9.30)	最終決算見込額	2017年予算額	差額
I. 収入の部					
会費収入	9,867,550	200,000	10,067,550	10,000,000	67,550
大会会費収入	547,000	600,000	1,147,000	1,200,000	-53,000
研究会参加費収入	99,000	0	99,000	150,000	-51,000
研究誌等販売収入	71,600	0	71,600	200,000	-128,400
関西支部収入	176,000	0	176,000	150,000	26,000
中京支部収入	111,000	0	111,000	30,000	81,000
地域活動収入	0	0	0	20,000	-20,000
協賛金収入	0	300,000	300,000	0	300,000
その他事業収入	0	0	0	0	0
受取利息	38	0	38	500	-462
雑収入(印税他)	0	0	0	0	0
当期収入計(A)	10,872,188	1,100,000	11,972,188	11,750,500	221,688
前期繰越資金	10,128,104		10,128,104	8,188,363	1,939,741
収入合計(B)	21,000,292	1,100,000	22,100,292	19,938,863	2,161,429

科目別	決算額 (2018.7.31現在)	予測 (2018.8.1～ 9.30)	最終決算見込額	2017年度予算額	差額	備考
II. 支出の部						
大会開催支出	33,607	2,500,000	2,533,607	2,500,000	33,607	
関西支部支出	205,708	0	205,708	150,000	55,708	支部役員会、支部懇親会費等
中京支部支出	45,000	0	45,000	50,000	-5,000	講師懇親会費、7月会料
地域活動費	181,545	0	181,545	150,000	31,545	新規リフ'講費用
業務委託費	2,484,000	476,200	2,959,200	1,000	事務局委託費 コンサルティング料等	
広告宣伝費	29,160	0	29,160	100,000	-70,840	ホームページ掲載料
研究会費	6,750	0	6,750	0	6,750	施設使用料
旅費交通費	212,923	150,000	362,923	500,000	-137,077	理事会、研究会等交通費
通信費・運賃	663,168	553,541	1,216,709	1,500,000	-283,291	ホームページ管理等 メール配信、会員への送付
講師料	199,678	250,000	449,678	400,000	49,678	研究会講師謝金、アレバイト代
会食費	103,239	50,000	153,239	100,000	53,239	会食食代、理事会会議室代等
消耗品費	138,112	0	138,112	200,000	-61,888	FAXインクリボン、封筒等
印刷費	1,458,000	500,000	1,958,000	1,920,000	38,000	研究誌vol.13等印刷代他
租税公課	0	0	0	0	0	
支払手数料	194,701	105,000	299,701	300,000	-299	銀行振込手数料 口座引き落手数料
諸会費	140,000	0	140,000	140,000	0	学術団体会員 賛助会費
15回記念大会委員会事業費	0	500,000	500,000	500,000	0	
研究助成金	300,000	0	300,000	500,000	-200,000	奨励金
予備費・雜費	270,000	0	270,000	1,000,000	-730,000	キャラテ'デザイン制作成費用
当期支出計(C)	6,665,591	5,084,741	11,750,332	12,969,200	-1,218,868	
当期收支差額(A) - (C)	4,206,597		221,856	-1,218,700	1,440,556	
次期繰越資金(B) - (C)	14,334,701		10,349,960	6,969,663	3,380,297	

## 《資料5》 2018年度事業計画案の件

### 1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、またアカデミックと現場実務との相互交流及び相互作用を重視する学会として、用語・概念の整理や深化、現場実態の多角的な検討やその理論的解釈など、キャリアに関する基礎研究とその成果共有の必要性、重要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する。

### 2. 今期および中期的活動計画

当学会は2014年に設立10周年を迎える、今期も15周年に向けて新たな活動を行いたい。すでに、10周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにし、第11回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムを行った。

これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、引き続き委員会活動が展開したい。今後も一般社団法人化と15周年にむけて、活動を続けていきたい。

#### (1) 研究組織委員会の活動

各委員長を中心に、諸活動を推進する。

##### ① 研究組織委員会

前年度に引き続き、学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性 および方針を総合的に検討する。あわせて学会の法人移行を前提とした上で、研究組織全体の持続的発展に向けた検討を引き続き行う。

##### ② 研究大会企画委員会

第16回研究大会（学習院大学）の大会テーマ、基本方針の決定、自由研究発表の募集、大会企画の検討、及び当日の運営を行う。さらに、第17回研究大会の開催校を検討する。  
また、学会奨励研究の募集、及び奨励研究の採択を行う。

##### ③ 研究会企画委員会

前年度同様、キャリアデザインライブ！の開催を継続する。地方会員参加（会員増加）のためにも地方開催も継続したい。北海道を計画している。東京の金曜日夜開催に関しても、前年度を踏襲し、複数の大学での開催や企業での開催を計画している。

#### **④ 研究誌編集委員会**

2018年12月1日から2019年1月10日まで投稿を受け付け、研究誌 Vol.15 を発行する。また、研究誌の電子媒体化、既刊の論文等の J-STAGE への登録や学会ホームページでの公開についても引き続き検討していく。

#### **⑤ 広報委員会**

キャリアデザイン・ニュースレター及びキャリアデザインマガジンを定期発行する。学会ホームページ「私のキャリアデザイン」は、四半期ごとに掲載、ソーシャルメディア（以下、SNS）の活用による学会活動の情報発信は適宜行う。また、会員向けのサービス充実に向け、各コンテンツ見直し、各地域からの情報収集、情報共有の活性化を検討していきます。

企業会員との情報交換会は引き続き、定期的に開催し、新しい会員サービスや活動を検討する。

#### **⑥ キャリア研究・政策・国際交流委員会**

2018年度も2017年度に引き続き、10年という長期のビジョンで、キャリアデザイン学会の研究の方向性を考えることを主目的とした活動を実施していくこととする。本学会の研究の方向性を長期にわたって追及するに相応しいテーマを検討しつつ活動を継続していく。

#### **⑦ 15周年記念事業委員会**

15周年（2019年度）の記念事業実施に向けて、法人化後の学会の目指す方向を踏まえつつ、研究大会・研究会各企画委員会、広報委員会等の関係委員会と連携をとりながら、具体的な記念事業の実施について検討・決定する。

#### **⑧ 法人化準備検討委員会**

荻野勝彦委員長のもと、3つのワーキンググループにて法人化に向けた検討・対応の実務を行う。規約ワーキンググループでは、浅野浩美リーダーのもと、新法人の規約類について他学会とのベンチマークや専門家の助言などを通じて、新法人が適切な規約類を設定できるよう情報収集を進める。移行ワーキンググループでは、荻野勝彦リーダーのもと、専門家の助言・業務代理を得つつ、法人登記に向けて必要となる実務を洗い出し、手續を確実に実施する。システムワーキンググループでは、玄田有史リーダーのもと、ウェブサイトの（株）エイチ・ユーから（株）文伸への移行などの実務を進める。

## (2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催する。

### ①関西支部

年2回の研究会を開催する。関西大学で開催される第15回研究大会に協力するため、支部研究大会は開催しない。

### ②中京支部

年3回の中京支部研究会を開催する。

### ③その他の地域

各地区での交流会の積極的な推進を検討している。

## 3. その他の活動

会員へのサービス向上につながる施策を打ち出し、積極的な参加の促進と新規会員の獲得に努める。

役員と会員の協働によって諸活動を推進していきたい。

### ①一般社団法人への移行準備の強化

2019年の一般社団法人化に向け社団法人準備検討委員会の中にワーキンググループを設置し、現学会からのスムーズな移行、新法人の定款、諸規程の整備並びに現在のホームページの刷新に向けて推進していく。

### ②自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を継続して実施していく。

### ③キャリア・デザイン・ライブの地方開催

2014年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を地方にて特別研究会としての開催を継続して実施していく。

### ④企業会員交流会の実施

10年ビジョンのシンポジウムの方向性を軸に、企業会員の相互交流や勉強の機会の場を設け創発的相互作用の実現を目指し広報委員会にワーキンググループを設置し推進していく。

### ⑤20周年記念事業

2024年に学会創立20周年となるため、記念大会と位置づけ、節目にふさわしい大会になるよう早期から計画を進めていく。

以上

## (仮称)一般社団法人日本キャリアデザイン学会定款案等説明資料(案)

定款案は別資料のとおりですが、法的な形式に沿った文章のため、読みにくいところがあろうかと思われます。そのため、以下に今回の提案のポイントをまとめましたので、こちらを中心に説明いたします。

### 【1】これまでの経緯ーなぜ、一般社団法人化するのか？

- 日本キャリアデザイン学会は、昨年(2017年)の大会で、**2019年に一般社団法人化することを決定しました。**  
「一般社団法人」とは、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」を根拠とする、法人格を持つ社団(人の集まり)です。
- 本学会は設立以来「任意団体」として活動してきましたが、2004年に250人で発足したこの学会も、今では**1,400人という規模に発展し**、支部も増え、予算規模も大きくなりました。  
それにともない、学会組織の運営、ガバナンスも、より健全で強固にしていくことが社会的に求められます。  
一般社団法人の運営については法律で必要事項が定められており、**法の要請に沿った運営を行うことで**、より健全で強固なガバナンスが実現し、結果的に**高い社会的信用を得ることができます**。
- 現状では、学会運営・ガバナンスの基本的な事項である**「学会としての銀行口座」を持てないので**、会費等の管理は会長個人名義の口座で行っています。また、やはり基本的事項である「日本キャリアデザイン学会」の**商標登録も会長個人が行っている**という状態です。  
一般社団法人化して法人格を得ることで、**口座の開設や契約などが学会として可能となります**。
- さらに、他の類似の学会をベンチマークしても、会員が1,000人を超えると法人化を検討する例が多いため、本学会もそれにならう形となりました。

### 【2】今回提案される定款案とは？

- 一般社団法人を設立するためには、**「定款」を作成して、法人登記を行う必要があります**。  
現在、本学会は**「規約」**に基づいて運営されていますが、定款はこの「規約」に概ね相当するものです。  
定款は一般社団法人の基本的な事項を記述したもので、必要な規定が法律で定められています。  
今回提案される定款案は、**現行の規約をベースに法の定めに従うように書き直したもの**になっています。

### 【3】学会のなにが変わるのか？

- 一般社団法人化は組織形態を変えるものですから、学会の**理念・目的、事業・活動内容等**については現状と**変わりありません**。会員種別や会費なども一切変更ありません。(定款案第3条～第5条)  
一方、学会の組織・機関や、運営の在り方については、**法の要請に従う形で見直し**を行います。(第6条3項)  
それにともない、会員のみなさんにも変更点がありますので、まずそこから説明します。

### 【4】会員はなにが変わるのか？

- これまでの本学会の会員には、正会員、学生会員、賛助会員、特別会員の4種別がありました。これは、新法人でも変更ありませんが、新たに正会員の中から「社員」(=代議員)を選挙していただきます。(第13条)
- この「社員」は法律上の用語で、一般的な「会社の従業員」といった意味の“社員”とは異なり、**一般社団法人の社員総会に出席して議決に加わる人**を指します。一般的な“社員”とまぎらわしいため、法に基づく場合以外はなるべく「代議員」と呼ぶこととしています。
- 社員総会は、現学会の総会に相当するもので、法律で設置が義務付けられています。(第14条)  
役割は、活動計画や決算書類、役員人事などの重要事項の審議・議決であり、現学会の総会と同様です。(第15条)
- 一方、現学会の総会に定足数がないのに対し、**社員総会の定足数は社員の過半数**と法定されています。  
そのため、1,000人を超える規模の一般社団法人では、正会員をすべて社員とした場合、定足数を満足することが実務的に難しいことから、**社員を選挙で選出する代議員制を採用することが一般的**となっています。  
今回の定款案も、その通例に従って作成しています。(第20条)

現学会(任意団体)	新法人(一般社団法人)
正会員 ・総会での議決権あり	社員である正会員(代議員) ・社員総会での議決権あり ・次期社員(代議員)の被選挙権なし(選挙権あり※) 社員でない正会員 ・社員総会での議決権なし(参加・発言は可能) ・社員(代議員)の選挙権・被選挙権あり※
学生会員 ・総会での議決権なし	学生会員 ・社員総会での議決権なし ・社員(代議員)の選挙権・被選挙権なし
賛助会員 ・総会での議決権なし	賛助会員 ・総会での議決権なし ・社員(代議員)の選挙権・被選挙権なし
特別会員 ・総会での議決権なし	特別会員 ・総会での議決権なし ・社員(代議員)の選挙権・被選挙権なし

※ただし、会費納入済であることなどの要件あり

■したがって、今後の正会員のみなさんは、従来の「総会への参加」に代わって「総会に参加する社員（代議員）の選挙への参加」という形で、活動計画等の重要事項の決定に関与していただくことになります。

■法人設立にあたっては、法律上、定款に2人以上の設立時社員を記載することが求められています。

提出書類の準備など手続が非常に煩雑なため、設立時社員は最小限とすることが一般的です。

この定款案では、本学会設立の理念を継承すべく、設立発起人幹事であった川喜多喬特別会員と菊地達昭会員を設立時社員としました（内諾済）。（附則3）

■社員（代議員）の人数や選挙方法については、定款案上は新法人の理事会にて決定することとされています（第13条）。

定款案では、社員（代議員）の人数を「概ね正会員100人の中から1人以上の割合」としていますが、これは学会規模がさらに拡大することも念頭において下限として設定しようとしているものです。移行にあたっては、円滑な移行を図るということを重視するとともに、なるべく多くの正会員の方に社員総会に参加していただく、学会構成の多様性を反映した適任な方が民主的に選ばれる、などの観点を踏まえ、引き続き法人化準備検討委員会にて情報収集を進めます。

社員（代議員）に選出された方には、社員総会への出席や諸手続など、学会運営への協力をお願いします。

## 【5】組織はどう変わるのか？

■従来の「総会」が「社員総会」に変わることは、上で説明したとおりです。

これに加えて、理事会・常務理事会といった学会の機関も、法的な要請に沿ったものとする必要があります。次ページの図をご参照ください。左が現在の本学会の運営、右が法が定める一般社団法人の機関です。

### <理事会・常務理事会の2階建てから、理事会のみの1階建てに変わります>

◆任意団体と異なり、ガバナンス強化の観点から一般社団法人の理事会は法律で本人出席が必須と定められています。そのため、一般社団法人では理事の人数を少数とし、本人出席可能な人を選ぶことが一般的です。（第39条）

◆法が定める一般社団法人の理事会は、本学会の現状の運営では概ね常務理事会に相当することから、定款案では現行の常務理事会メンバーをそのまま新法人の設立時理事として、定員11人とすることを提案しています。

（附則5）

現学会(任意団体)の機関と新法人(一般社団法人)の機関

現学会(任意団体)		新法人(一般社団法人)	
定足数・議決事項など	機関	機関	定足数・議決事項など
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全正会員で構成</li> <li>◇定足数はなく、総会出席者の過半数で決議</li> <li>◇規約に定める総会決議事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)役員の承認</li> <li>(2)予算・決算及び事業計画</li> <li>(3)規約の制定・改廃</li> <li>(4)その他理事会提案事項</li> </ul> </li> </ul>	総会	<b>社員総会 (代議員会)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全社員(代議員)で構成</li> <li>◇定足数は委任状等含め社員の過半数と法定</li> <li>◇法定の決議事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の選任・解任</li> <li>・決算書類の承認</li> <li>・定款の変更</li> <li>・法人の解散 など</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇選挙で選ばれた 15 人と会長が指名した 5 人で構成</li> <li>◇定足数は過半数で、委任状等の代理出席も可</li> <li>◇会長の選出、総会提出議題の決定などを行う(実務の大半は常務理事会に委任)</li> </ul>	理事会	<b>理事会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇定款に定める理事で構成</li> <li>◇定足数は理事の過半数で、<b>本人出席が必須(代理不可)</b></li> <li>◇社員総会の議決が法定された事項を除き定款に基づき決定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇会長、副会長、常務理事、事務局長・次長の 11 人で構成</li> <li>◇定足数は過半数で、委任状等の代理出席も可</li> <li>◇規約等に基づき、学会活動の大半について決定</li> </ul>	常務理事会		

## <その他の機関は従来どおりです>

◆監事については、現学会の監事をそのまま監事とすることを提案しています。

(附則5)

◆現学会における、研究組織委員会やその他の各委員会、支部組織などについては、法に特段の定めもなく、現状と変更ないことを想定しています。

(第42条)

## 【6】その他のポイントは？

■一般社団法人には「普通型」「共益型」「非営利徹底型」という3類型が存在します。

- ・**普通型**: 営利活動(利益を構成員に分配する活動)ができる。会費、寄付金含め全所得に課税される
- ・**共益型**: 営利活動は行わず、会員に共通する利益を図る活動を行う。収益事業のみ課税される  
(例:マンション管理組合、同窓会)
- ・**非営利徹底型**: 営利活動は行わず、非営利の多様な活動を行う。収益事業のみ課税される  
(ほとんどの一般社団法人化された学会はこれを選択)

■学会の理念や目的、事業・活動にもつともふさわしい形態として、定款案は**非営利徹底型**となっています。

そのため、定款案では剰余金の分配は行わないこと(第48条)、解散時の残余財産は公的団体に贈与すること(第53条)などを定めています。

■その他、主たる事務所の所在地(第2条)、定款等の閲覧(第6条2項、第13条8項、第46条、第47条)、公告(第55条)、事業年度(第43条)などの事項について、専門家(行政書士法人シーガル事務所)の助言を得て、所要の記載を実施しています。

## 【7】今後の新法人への移行について(本総会にてご承認いただきたい点)

■来年の総会までに、新たな「一般社団法人日本キャリアデザイン学会」を先行して設立・登記します。

その後、来年の総会で、現学会の解散を議決します。その段階で、現学会の会員は、自動的に現学会の会員種別のまま、新法人の会員となることとしたいと考えます。

会員のみなさまには、一切の個別手続などは必要ありません。

■現学会の有する財産、および権利義務関係などは、すべて新法人で承継することとしたいと考えます。

具体的な手続などは、必要に応じ専門家の助言等を得つつ、法人化準備検討委員会が対応してまいります。

以上

《資料7》 2018年度予算案の件

日本キャリアデザイン学会 2018年度予算（案）

収支計算書

2018年10月1日～2019年9月30日

(単位：円)

科目別	2018年度予算	2017年度予算	2017年度決算見込み	差額 (2018年度予算- 2017年度決算 見込み)
<b>I. 収入の部</b>				
会費収入	9,500,000	10,000,000	10,067,550	-567,550
大会会費収入	1,500,000	1,200,000	1,147,000	353,000
研究会参加費収入	100,000	150,000	99,000	1,000
研究誌等販売収入	100,000	200,000	71,600	28,400
関西支部収入	100,000	150,000	176,000	-76,000
中京支部収入	100,000	30,000	111,000	-11,000
地域活動収入	0	20,000	0	0
協賛金収入	0	0	300,000	-300,000
その他事業収入	0	0	0	0
受取利息	50	500	38	12
雑収入(印税他)	0	0	0	0
当期収入計(A)	11,400,050	11,750,500	11,972,188	-572,138
前期繰越資金	10,349,960		10,128,104	221,856
収入合計(B)	21,750,010	11,750,500	22,100,292	-350,282

科目別	2018年度予算	2017年度予算	2017年度決算 決算見込み	差額 (2018年度予 算-2017年度 決算 見込み)	備考
<b>II. 支出の部</b>					
大会開催支出	2,500,000	2,500,000	2,533,607	-33,607	2017年度は、15回大会分。運営費(350千)
関西支部支出	150,000	150,000	205,708	-55,708	
中京支部支出	50,000	50,000	45,000	5,000	
地域活動費	300,000	160,000	181,545	118,455	キャリア・デザイン・ライブ地方出張ライブ(北海道大学)
業務委託費	2,959,200	2,959,200	2,960,200	-1,000	事務局委託費2,640千(+60万円)
広告宣伝費	100,000	100,000	29,160	70,840	
研究会費				6,750	
旅費交通費	500,000	500,000	362,923	137,077	理事会、委員会等交通費
通信費・運賃	1,500,000	1,500,000	1,216,709	283,291	ホームページ維持費(400千)、ニュースレター(200千)、会員への送付
講師料	450,000	400,000	449,678	322	研究会講師講師料、テープ起こし
会会費	150,000	100,000	153,239	-3,239	施設(会議室)使用料
消耗品費	500,000	200,000	138,112	361,888	一社化に伴う封筒等刷新
印刷費	2,500,000	1,920,000	1,958,000	542,000	研究誌Vol.14発行分(1,620千)+封筒代(150千)新体制パンフレット2回
租税公課	0	0	0	0	2015年度 商標登録印紙代
支払手数料	300,000	300,000	299,701	299	銀行振込手数料、口座引き落とし手数料
諸会費	140,000	140,000	140,000	0	中央職業能力開発研究会年会費、学術団体賛助会費
研究助成金	500,000	500,000	300,000	200,000	奨励研究
20回記念大会委員会事業費	500,000	500,000	500,000	0	20周年に向けた積立(50万円×4年)
予備費・雑費	4,000,000	1,000,000	270,000	3,730,000	新設料(3,000千)、社団法人化賃用料(1,000千)
当期支出計(C)	17,099,200	12,969,200	11,750,332	5,348,868	
当期収支差額(A)-(C)	-5,699,150	-1,218,700	221,856	-5,921,006	
次期繰越資金(B)-(C)	4,650,810	6,969,663	10,349,960	-5,699,150	

## ≪資料8≫ 『倫理規約・学会規約』改定案について

### 改定趣旨

- ・理事会及び常務理事会の組織及び権限と役割を明確化する。
- ・一般社団法人への移行に伴い事務局機能を強化する。

### 【倫理規程】

改定後	改定前
(会員の資格喪失の判断) 第10条 <u>常務理事会</u> は、倫理委員会の報告に基づいて、規約第9条第1項第3号に関わる判断を行う。	(会員の資格喪失の判断) 第10条 <u>理事会</u> は、倫理委員会の報告に基づいて、規約第9条第1項第3号に関わる判断を行う。

### 【学会規約】

改定後	改定前
(役員) 第10条 本会に次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 3名 (3) 常務理事 5名以内 (4) 理事 20名以内 (5) 事務局長 1名 (6) <u>事務局次長</u> 2名以内 (7) 研究組織委員 若干名 (8) 監事 2名以内 2 本会に、顧問を置くことができる。	(役員) 第10条 本会に次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 3名 (3) 常務理事 5名以内 (4) 理事 20名以内 (5) 事務局長 1名 (6) <u>事務局次長</u> 1名 (7) 研究組織委員 若干名 (8) 監事 2名以内 2 本会に、顧問を置くことができる。

《資料9》 新役員候補者の件

1. 選挙結果概要

選挙人資格者	811人 *前回824人
投票者数 (投票率)	272人 *前回354人 (33.5%)
うち有効得票	253通 *前回324通
うち無効票	19通 *前回30通
無効投票	0通
締切到着 (未開封)	19通 *前回30通

2. 新役員候補者一覧

役職	氏名	所属
会長	脇坂 明	学習院大学
副会長	荻野 勝彦	トヨタ自動車(株)
副会長	川崎 友嗣	関西大学
副会長	末廣 啓子	日白大学
常務理事	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構
常務理事	荒井 明	産業能率大学
常務理事	梅崎 修	法政大学
常務理事	金井 篤子	名古屋大学
常務理事	玄田 有史	東京大学
理事	上西 充子	法政大学
理事	金子 尚絵	(株) 税務研究会
理事	児美川 孝一郎	法政大学
理事	坂爪 洋美	法政大学
理事	佐藤 厚	法政大学
理事	眞保 智子	法政大学
理事	高綱 瞳美	愛知教育大学
理事	田中 潤	(株) ぐるなび
理事	中原 淳	立教大学
理事	中村 恵	神戸学院大学
理事	堀内 泰利	慶應義塾大学
事務局長	荒井 明	産業能率大学
事務局次長	金子 尚絵	(株) 税務研究会
顧問	川喜多 喬	順天堂大学
顧問	清成 忠男	事業構想大学院大学
顧問	渡辺 三枝子	筑波大学
監事	田中 勝男	公認会計士田中勝男事務所
監事	米倉 浩伸	トリガーサーパント(株)

### 【研究組織委員会】

委員長	玄田 有史	東京大学
副委員長	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構

### 【研究大会企画委員会】

委員長	眞保 智子	法政大学
副委員長	青木 猛正	立教大学

### 【研究会企画委員会】

委員長	梅崎 修	法政大学
副委員長	田中 潤	(株) ぐるなび
副委員長	山田 智之	上越教育大学

### 【研究誌編集委員会】

委員長	児美川 孝一郎	法政大学
副委員長	上西 充子	法政大学

### 【広報委員会】

委員長	堀内 泰利	慶應義塾大学
副委員長	内田 勝久	富士電機(株)
副委員長	松岡 猛	NEC マネジメントパートナーズ(株)

### 【キャリア研究・政策・国際交流委員会】

委員長	佐藤 厚	法政大学
副院長	武石 恵美子	法政大学

### 【15周年記念事業委員会】

委員長	末廣 啓子	目白大学
副委員長	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構

### 【法人化準備検討委員会】

委員長	荻野 勝彦	トヨタ自動車(株)
副委員長	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構

### 【20周年記念事業委員会】 (新設)

委員長	川崎 友嗣	関西大学
-----	-------	------

### 【関西支部】

委員長	中村 恵	神戸学院大学
副委員長	松高 政	京都産業大学

### 【中京支部】

委員長	金井 篤子	名古屋大学
副委員長	高綱 瞳美	愛知教育大学

## 《資料10》

### 2019年度第16回研究大会(15周年記念事業)・総会の開催

主宰校： 学習院大学

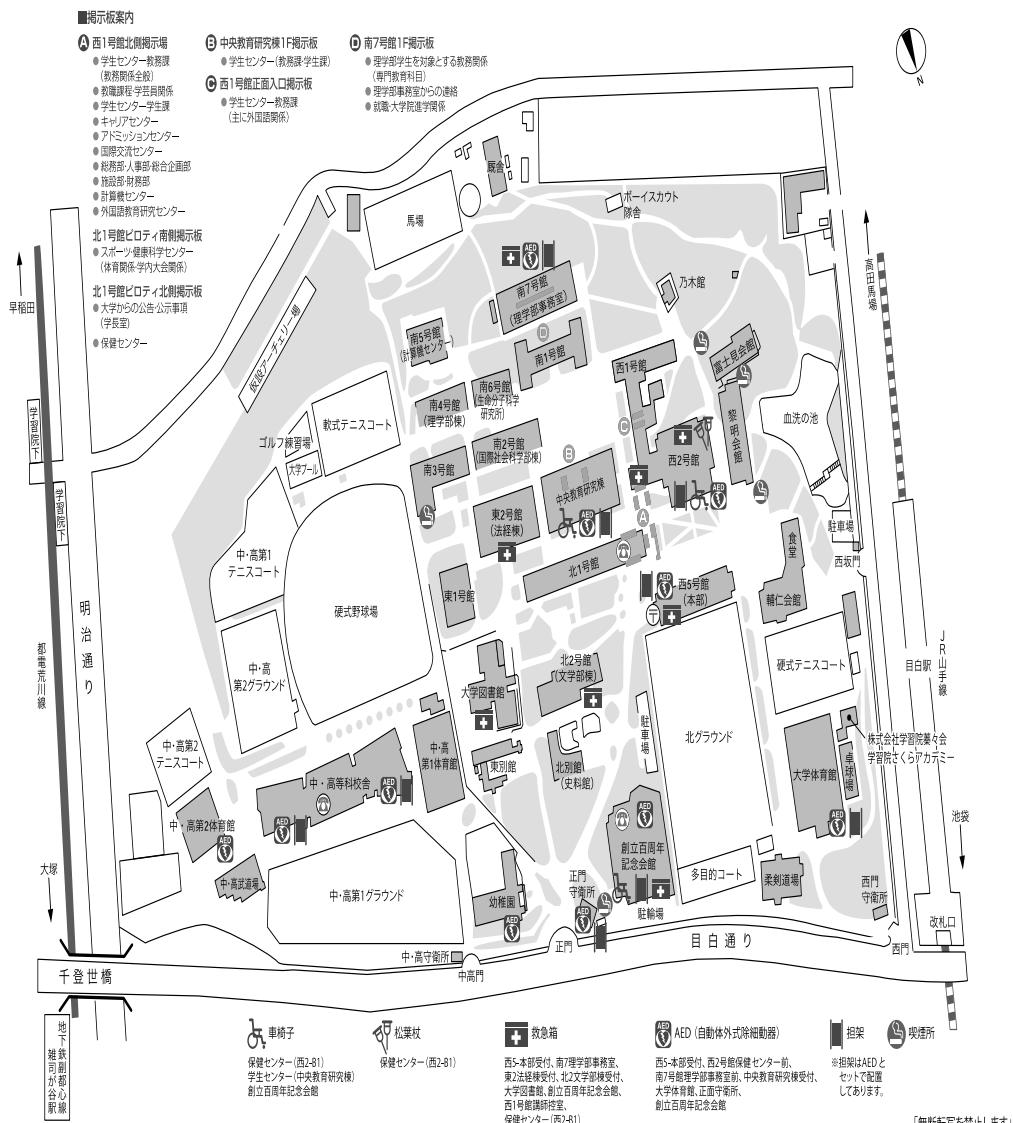
日程：2019年9月7日（土）・8日（日）

東京都豊島区目白1-5-1

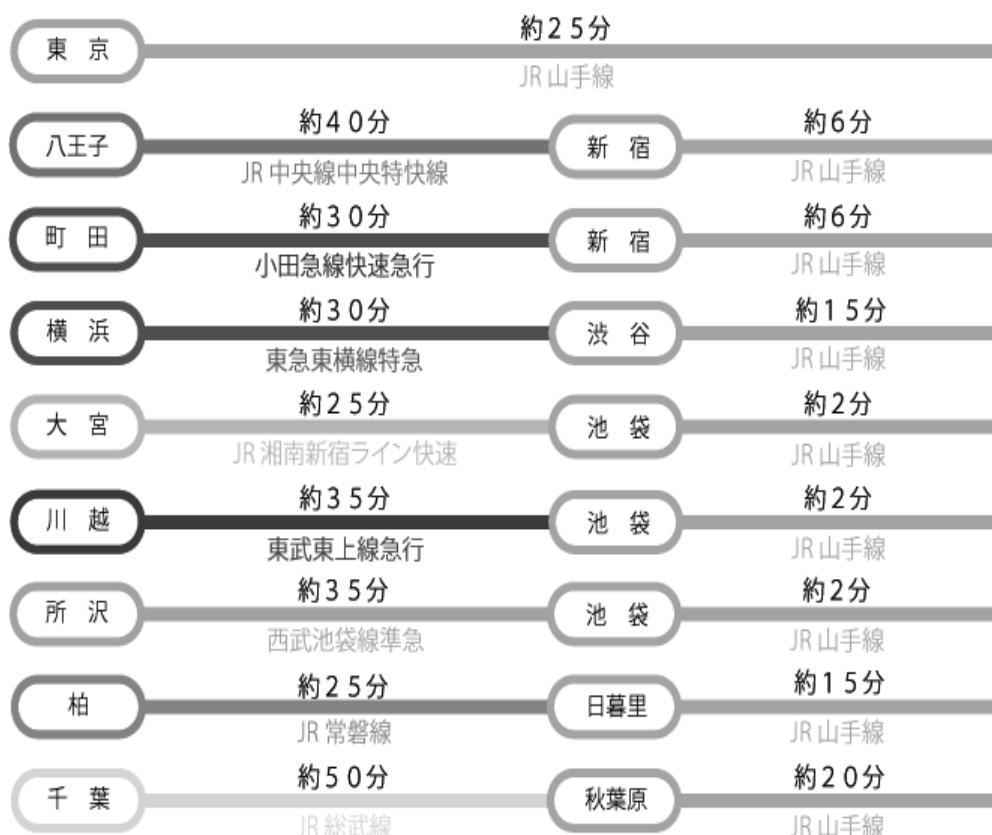
JR山手線 目白駅から徒歩30秒

URL: <http://www.univ.gakushuin.ac.jp/access.html>

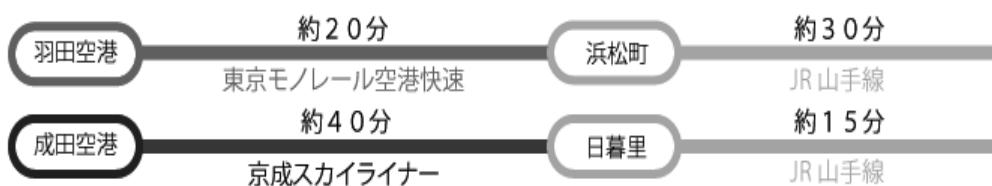
#### キャンパスマップ



# 目白



## 空港からの交通アクセス



ーお問い合わせー

## 日本キャリアデザイン学会

〒181-0012

東京都三鷹市上連雀 1-12-17

三鷹ビジネスパーク 2号館

ぶんしん出版内

**TEL.0422-55-6582 FAX.0422-55-6582**

E-mail [info@career-design.org](mailto:info@career-design.org)

URL: <http://www.career-design>